



養正保育所 NO.3

令和7年 12月発行  
TEL 781-0743(幼児)  
701-8666(乳児)

春に植えたさつまいもがぐんぐん育ち、秋になって芋ほりを行いました。長いツルを「うんとこしょ」と引っ張ると、土の中から大きささまざまなお芋がでてきて、子どもたちは大喜び。掘れたお芋は給食のさつまいもご飯に入れてもらったり、幼児では石焼き芋パーティーをしたりして、みんなで美味しく頂きました。

夏野菜やお芋を収穫した後の畑には、大根やスナップエンドウなど冬から春に育つ野菜の種を植えました。「めがでた」「おおきくなってきた」など野菜の成長や変化を楽しみながら観察しています。自分たちで育てた野菜の収穫を通して、食材への興味が広がったり、食べる喜びにもつながっていると感じます。次の収穫も楽しみに、子どもたちと一緒に畑のお世話を続けていきたいと思います。

## さつまいももち



給食のおやつのさつまいもを使った簡単メニューを紹介します。形を作る工程は親子で一緒に楽しむのもおすすめです。フライパンやホットプレートで焼くと、においや色の変化も楽しめます。今が旬のさつまいもを使ったおやつ、ご家庭でも味わってみてください。

### —材料—

幼児5人分

- ・さつまいも 250g
- ・砂糖 20g
- ・片栗粉 40g
- ・油 大さじ1
- ・水 大さじ1

### —作り方—

1. さつまいもは、皮をむいて火が通りやすいように小さめに切り、ゆでる。
2. ①のさつまいもが熱いうちにつぶしながら砂糖、片栗粉、油、水を混ぜ合わせる。
3. ②を食べやすい大きさにまとめる。
4. ホットプレートに油（分量外）をひき、③の両面を色良く、焼く。



## 1歳児 ぱんだぐみ「たべるのだいすき」

配膳が始まると、「ごはんきたー」とニコニコで覗きこんだり、「えぶろん（はやくつけて、たべようよ）」と保育士のところへ、その保育士のエプロンを持ってきてくれたりと、食べることが大好きなぱんだ組の子どもたちです。

スプーンを使って食事することにも少しずつ慣れてきました。保育所では、スプーンですくいやすいよう、ふちのある食器を一人一人の発達に合わせて使用しています。“あっ、すくえた”と嬉しそうな表情を見せ、自分でスプーンを使ってみたい気持ちが満たされ、さらに意欲的に食べようとする姿が増えてきました。



## 幼児 「石焼き芋おいしかったよ」

11月上旬、おやつの時、園庭で「石焼き芋パーティ」を楽しみました。午前中に、子どもたちが芋をアルミホイルに包み、薪で熱した「石」の上に置いてじっくり焼きました。保育士が、火床をのぞいたり、芋の焼き具合を見ていると、周りで遊んでいた子どもたちから「だいじょうぶ?」「おいもやけてる?」と心配そうに声をかけてくれていました。午睡起き、いつもと違う園庭のパーティ会場に、とても嬉しそうに入ってきました。アルミホイルを外して割ると、とてもいい匂いが広がり、きれいなお芋の色に、「おいしそう」と声が上がりました。石焼き芋は、すす汚れもなく、石の遠赤外線効果でとても



おいしく焼きあがります。お芋の苦手な子どももおかわりするくらい好評で、好きな子どもはびっくりするほど何回もおかわりを楽しんでいました。